

# 適品種とスーパーセル苗による「冬どりキャベツ栽培」

## 技術の概要

スーパーセル苗を利用した定植時期の柔軟化と作業の効率化、凍害の少ない品種により、冬どりキャベツ栽培ができます。

### 1 凍害の少ない品種の利用

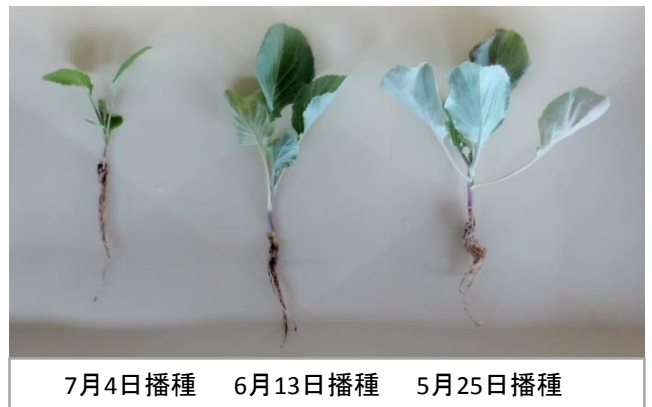
- ・「冬ぐり」と「冬のぼり」は凍害の発生が少ない品種で、1月どりで1.5kg以上の結球重が確保できる。
- ・「冬ぐり」「冬のぼり」共にアスコルビン酸含量が高く、「冬のぼり」は低温遭遇により糖度が上がりやすい。



凍害の少ない品種「冬のぼり」(左)「冬ぐり」(右)

### 2 スーパーセル苗で柔軟化・効率化

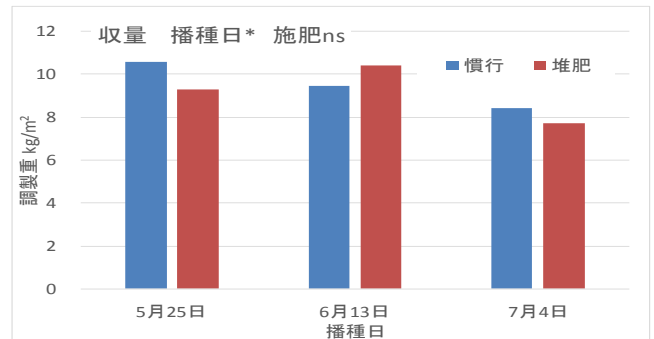
- ・5月下旬～6月上旬に200穴または128穴セルトレイに播種し、7月下旬～8月上旬に定植する。
- ・育苗期間は長くなるが、高温期を回避できるため管理しやすい。硬くて取り扱いやすい苗となり、定植機や手植えでの作業効率も高まる。
- ・定植適期が長いため、作業や天気の場合で柔軟に対応できる。



慣行苗(7月4日播種)とスーパーセル苗の状態

### 3 慣行以上の収量を確保

- ・スーパーセル苗は初期生育が良好で、慣行苗と同等かそれ以上の収量を確保できる。



慣行苗とスーパーセル苗の収量比較

## 期待される効果

- 夏期のキュウリ等との作業競合を回避しつつ、冬期の余剰労力を有効活用できる栽培方法として初心者でも簡単に取り組みます。
- スーパーセル苗は定植適期が長いため、共同育苗する場合にも有効です。
- 直売所販売から系統出荷まで、幅広い販路に対応できます。

## 【お問い合わせ先】

農研機構東北農業研究センター 〒020-0198 盛岡市下厨川字赤平4 TEL019-643-3510

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。